

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ロジスクエア伊丹 新築工事	階数	地上3F
建設地	伊丹市桑津一丁目520番6の一部	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2021年8月4日
敷地面積	17,962 m <sup>2</sup>	作成者	高松建設株式会社 太田 栄治
建築面積	10,127 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	29,935 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.9**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
音環境: 3.2	機能性: 3.5	生物環境: 2.0
温熱環境: 2.6	耐用性: 3.2	まちなみ: 3.0
光・視環境: 2.6	対応性: 3.9	地域性・敷地外環境: 2.5
空気質環境: 3.5		

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.9**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の: 5.0	水資源: 3.4	地球温暖化: 4.0
自然エネ: 3.0	非再生材料の: 3.8	地域環境: 3.4
設備システ: 5.0	汚染物質: 3.0	周辺環境: 3.1
効率的: 3.0		

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物利用者が快適に過ごせるよう室内環境に配慮するとともに、リフレッシュスペースを計画することで休憩時を含めた利用時間の快適性を考慮した。 また内装材にはリサイクル材を用いるなど資源の有効活用を行ない地球環境へ配慮する計画とした。	<b>その他</b> 特に無し	
<b>Q1 室内環境</b> 事務室には天井と床の二面に吸音材を使用し、音環境に配慮するとともに、F☆☆☆☆の建材を使用し空気質環境にも配慮した計画とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 十分な天井高さを確保し、自動販売機や建物利用者のためのリフレッシュスペースを計画した。また維持管理や更新時に配慮をした。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特に無し
<b>LR1 エネルギー</b> BPI=0.68 / BEI=0.48	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 省水型機器やリサイクル材を使用するなど資源の有効利用を図った。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐輪・駐車スペースを確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される